

SWE **PRIMUS**[®]

プリムス・エクスプレスピャイダー II

カートリッジガスこんろ(分離型)

P-136S

屋外使用専用

取扱説明書

●この製品はアウトドア用に開発された屋外使用専用の分離型カートリッジガスこんろです。●ご使用中は大量に酸素を消費しますので屋内、車内、テント内では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死する危険性があります。●屋外であっても換気の悪い場所（洞窟、窪地等）では十分に注意してご使用ください。●使用中、使用直後は器具が大変熱くなっており、火傷には十分ご注意ください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。●山行やキャンプ等で実際にご使用になる前に必ず器具と容器（ガスカートリッジ）が正常に動作することを確認してから持参してください。また、不測の事態に備えて必ず予備の器具やガスカートリッジ等をご用意ください。●この製品には圧電点火装置が装備されておりません。実際の山行やキャンプでは必ずマッチやライター（電子着火式でないもの）を携帯してください。●P-136Sは1~2人用を想定して設計されていますので、大型の鍋やヤカン等は使用できません。必ず小型のコップル等でご使用ください。●過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、ケガや火災など思わぬ事故の原因となったり、本体が焼損する恐れがあります。

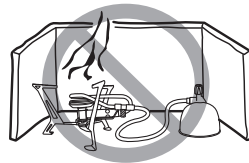
この度は、プリムス・エクスプレスピャイダー (P-136S) をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる場所に保管してください。ご使用になる前に容器（ガスカートリッジ）に表示されている注意事項も必ずお読みください。

■本製品をご使用いただく際に、特に注意していただきたいこと

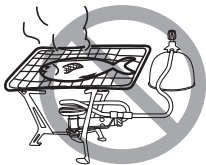
⚠ 警 告



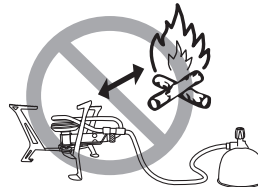
本製品は屋外使用専用です。屋内、テント内、車内では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死する恐れがあります。風通しが良く、周囲に引火物・可燃物のない場所でご使用ください。



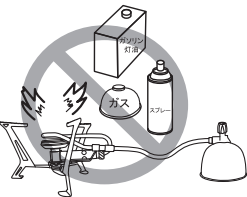
バーナーを市販の風防、天ぷらガードや石などで絶対に囲まないでください。排熱が滞留し、ガスカートリッジが過熱され爆発する危険があります。



市販のセラミック製品や鉄板、焼き網などをシングルバーナーに絶対に使用しないでください。輻射熱が放出しガスカートリッジやガスホースが過熱され爆発する恐れがあります。また、スモーカー（煙製器）にも使用しないでください。



火気の近くでは使用しない。火気や熱源からの輻射熱により、ガスカートリッジが過熱され爆発する危険があります。



引火物、可燃物の近くで使用しない。引火や過熱により爆発する恐れがありますので、必ず2m以上離してご使用ください。また、防水スプレー、殺虫剤などのエアゾール製品も引火の危険があるので絶対に使用しないでください。



ガスカートリッジの装着は器具を垂直に、また、締めすぎないように行ってください。斜めに傾けていると液状のガスが勢い良く噴出し危険です。また、ねじ込む際に過大な力で締め込むとガス漏れや故障の原因となります。



火を点けたまま側を離れない。本製品に火を点けたまま側を離れると思わぬ事故の原因となりますので、必ず消火してから離れるようにしてください。特にお子様がいる側では十分にご注意ください。

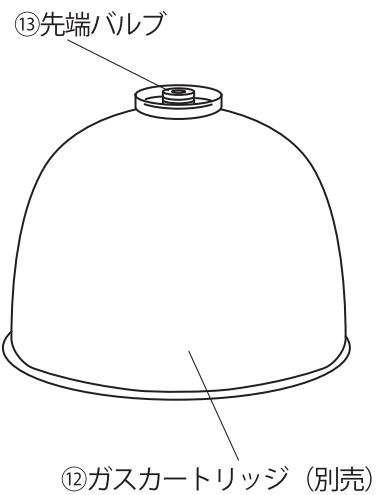
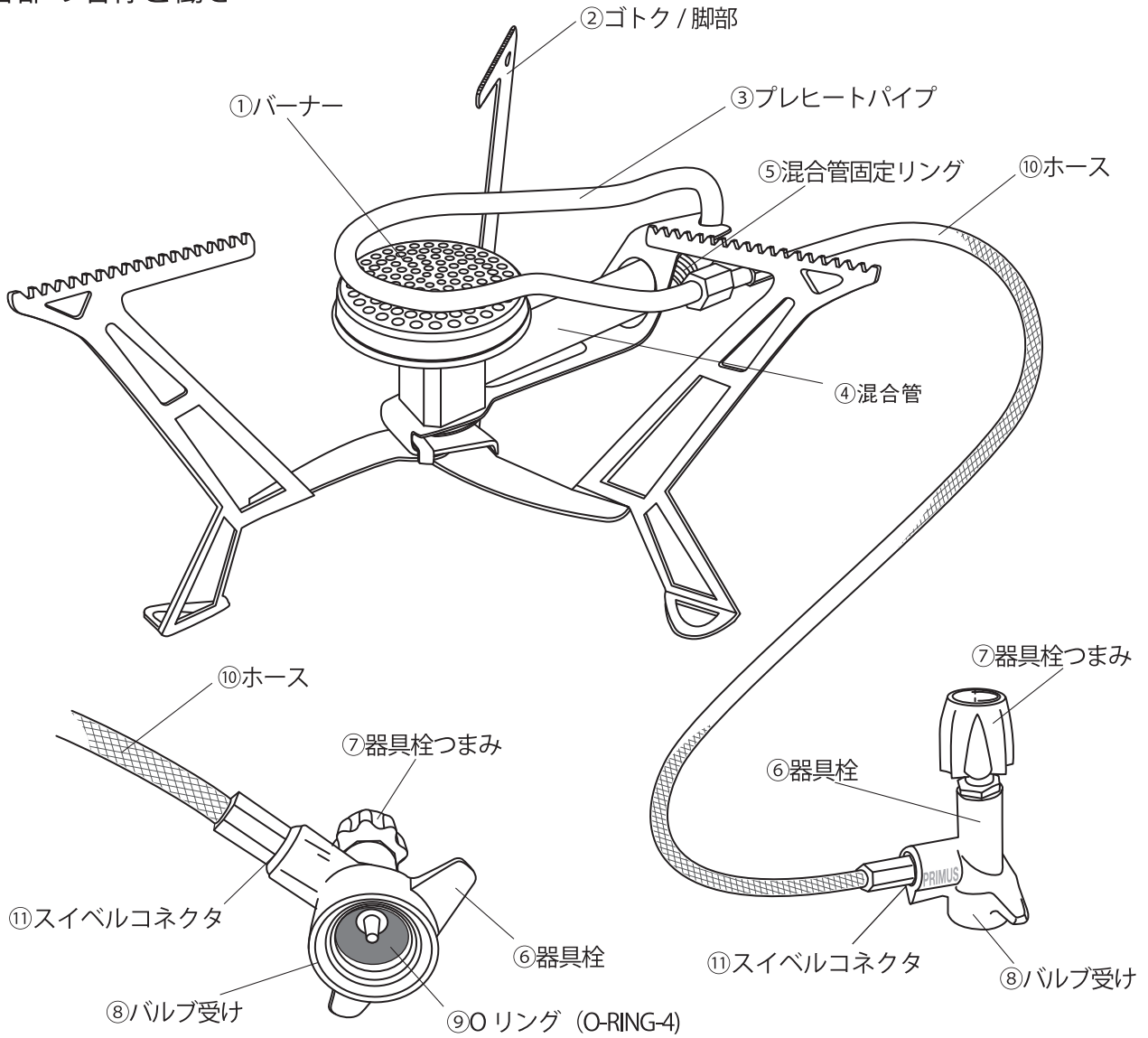


バーナーをこんろ以外の目的に使用しない。本製品は暖房器ではありません。暖房や衣類の乾燥等、本来の使用目的とは異なった使い方は思わぬ事故（火災、一酸化炭素中毒死、窒息死等）につながる恐れがあります。

ガスの性質について

ガスは液体から気体に変化する時に気化熱を必要とします。従って低温時や、液体ガスの温度が外気温を下回った場合、気化熱を得られなくなるため、カートリッジ内に残ガスがあっても「火力が弱い」「ガスが出てこない」という現象が発生します。その場合の対処方法としてガスカートリッジを体温で温めたり、新しいガスカートリッジに交換することで使用できる場合がありますが、目的地の外気温に合ったガスカートリッジを持参いただくことをお勧めします。Gタイプ（春夏用：20℃以上）、Tタイプ（オールシーズン：0℃以上）詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <http://www.iwatani-primus.co.jp/products/primus/index.html>

□各部の名称と働き

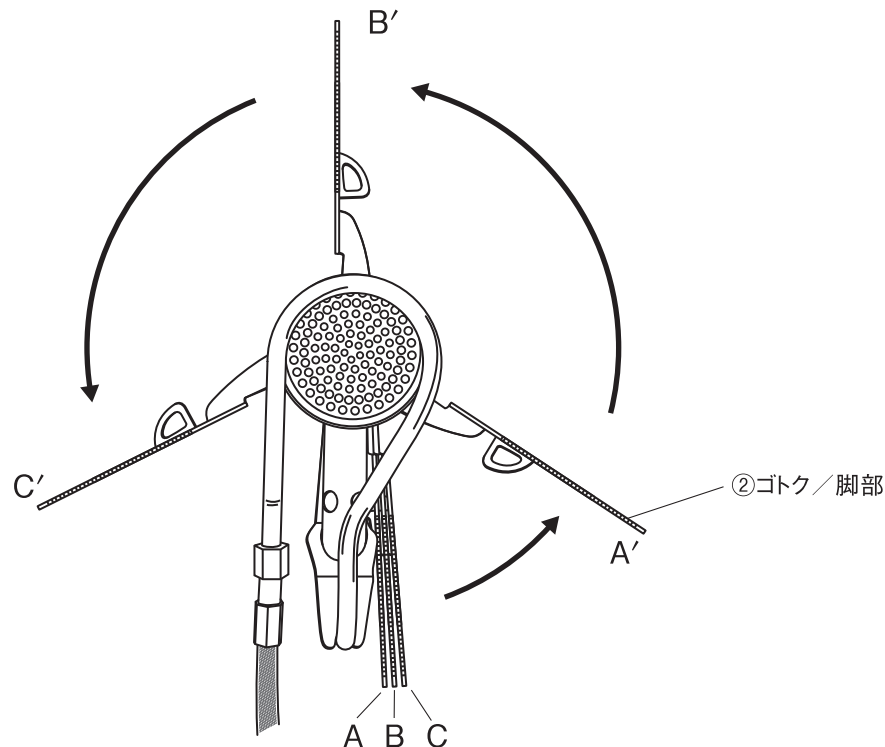


名 称	働 き
①バーナー	空気と混合されたガスを燃焼する部分
②ゴトク/脚部	回転して収納可能な3枚ゴトク
③プレヒートパイプ	ガスを強制的に気化する導管
④混合管	ガスと空気を混合させる管 (空気取り入れ孔)
⑤混合管固定リング	混合管とプレヒートパイプを固定するリング
⑥器具栓	ガスを調節し、遮断する栓
⑦器具栓つまみ	ガスの調節や遮断を操作するつまみ
⑧バルブ受け	ガスカートリッジを接続する受け口
⑨Oリング (O-RING-4)	ガスカートリッジと器具をシールする特殊ゴムパッキン
⑩ホース	ガスを器具栓からバーナーへ導くホース
⑪スイベルコネクタ	ホースの絡みを解消する 360° 回転可能な接続金具 ※プレヒートパイプ側の接続金具は固定式で回りません。
⑫ガスカートリッジ	ガスが充填されている容器 (別売)
⑬先端バルブ	器具を接続するためのガスカートリッジ側の弁

□器具の使用方法

■器具の組み立て

1. 組み立てる前に、必ず器具栓部のバルブ受けやOリング等の箇所にゴミ、ホコリ、砂等が付着していないことを確認してください、ある場合には取り除いてください。
- 2.重なっている3枚のゴトクを上面から見て時計の逆回転方向にそれぞれ回転させ、止まる場所まで広げます。



■容器（ガスカートリッジ）の装着方法

1. 容器（ガスカートリッジ）のキャップを取り外します。
※取り外したキャップは保管の際に必要ですので捨てないでください。
2. 器具栓つまみを右（マイナス方向/時計の回転方向）に回し、完全に閉じていることを確認してください。
3. 容器先端バルブが、こんろのバルブ受けに入るように正しくセットしねじ込みます。この時、無理にねじ込まず容器を回して自然の止まるよりややきつめ程度にねじ込んでください。また、容器は斜めにしないで必ず正立の状態器具を取り付けてください
4. 容器の装着が完了したら、必ず器具と容器が水平になる場所に設置してご使用ください。

⚠ 注意

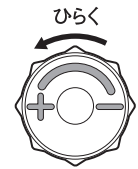
容器（ガスカートリッジ）取り付け/取り外しの際は多少ガスが漏れます。容器を取り外す前にこんろが完全に消火していること、器具栓つまみが完全に閉じていること、周囲に使用中の燃焼器具や火気が無いことを確認してから行ってください。

⚠ 注意

●使用時は器具とガスカートリッジの距離を最低でも 20cm 以上離してご使用ください。●パワーブースター（加温器）は絶対に使用しないでください。●ステンレスメッシュ被覆ガスホースを使用していますが、使用中および使用直後に直火やゴトク部、バーナー部に接触させると、高温のためホースを破損する恐れがありとても危険ですので十分注意してください。●プレヒートパイプによる強制気化機構が装備されていますが、ガスカートリッジを倒した状態での使用は大変危険ですので絶対にしないでください。●付属品以外の補助具は絶対に使用しないでください。●ホースは低温にも耐えうる素材を使用していますが、低温下でのご使用に際にはホースが硬化していないか確認してください。硬化してしまうような極低温下では使用できない場合があります。●ホースのみを持ってこんろを持ち歩いたりしないでください。また、ホースをひねったり、強いねじりの力が加わらないようご注意ください。また、収納時にホースを器具本体に強く巻き付けないようにご注意ください。ホースコネクタ部からのガス漏れの原因となります。●ホース接合部のガス漏れ点検を行うときは必ず石鹼水や水で薄めた中性洗剤をご使用ください。ガスを接続して炎を出しての点検は大変危険ですのでお止めください。

■操作の仕方

●点火：器具栓つまみを左（プラス方向 / 時計の逆回転）へゆっくり回しながらライター等でバーナー部に点火します。

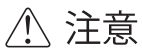
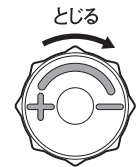


警告

点火の際は、バーナーを上から覗き込まないでください。炎により顔に火傷を負う危険があります。



●消火：器具栓つまみを右（マイナス方向 / 時計の回転）へ回し、火が消え、ガスが出る音が無くなるまで完全に閉じてください。このとき、確実に消火したことを確認してください。



注意

高所や低温時では電子着火式のライターでは点火しにくいことがありますので、マッチやフロント式のライターを携行してください。また実際の山行やキャンプでは念のために予備をお持ちください。

■収納方法

1. 使用後は器具が大変熱くなっていますので、収納する際は必ず器具本体が十分冷めるまで待ってから行ってください。
2. 器具栓が完全に閉じていること、器具本体が十分に冷めていることを確認し、器具から容器を取り外します。次にすべてのゴトク / 脚部をホース側に集約させて置きます。
※ホースはバーナー部に強く巻き付けずに大きな輪を作るようにして付属の収納バッグに収めてください。

□異常時の処置

万一異常燃焼を起こした時や緊急の場合は、慌てずに器具栓つまみを閉じて消火してください。火力が増して消火が困難な場合や周囲のものに引火した場合は距離を置き絶対に近づかず、周囲の人を避難させてください。水や消火器等がある場合は放水や消火器による消火などの緊急処置をとってください。

□故障・異常の見分け方と処置方法

故障かな?と思ったら・・・次のことをお調べください。

原因	故障・異常						処置方法
	点火しない (しにくい)	バーナーに火移りしない	大きな炎が上がる	炎が不揃い	火力が弱い	使用中に消火する	
ガスが少なくなっている	○	○			○	○	容器を新しいものと交換する
バーナーの目詰まり	○	○		○	○	○	金属ブラシ等でつまみを取り除く
ニップルの目詰まり	○	○			○	○	点検・清掃を依頼する
点火操作が不適切	○		○				正しい操作を行う
器具栓の故障	○	○				○ [※]	点検。修理を依頼する
液状のガスが出ている			○				一旦消火しガスを安定させてから使用する

上記のことをお調べの上お異常がある場合やお解りにならない時は、お買い求めになった販売店もしくは当社までご連絡ください。

※周囲の安全に注意してガスが無くなるまで燃やし続けてください。この時、突然爆発する危険もありますので、周囲の人を避難させ、安易に近づかないようにしてください。火力が増す場合や周囲のものに引火した場合は、放水や消火器による消火等の緊急処置をとってください。事後、販売店もしくは当社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

- 定期的に器具の点検・手入れを必ず行ってください。
- 実際に登山やキャンプ等へお出かけになる前に、器具と容器を接続して正常に動作することを確認してください。また、この作業は必ず屋外で行ってください。
- 本体や雨や夜露で濡れた時や煮こぼれた時は「着火しない」「正常に燃焼しない」場合があります。特に、バーナーヘッドの内部や混合管の中まで水分が入ってしまった場合は着火しませんので、ご使用になる前に乾いた布等で水分を取り除き、十分乾燥させてからご使用ください。
- 器具栓にあるOリング（ゴムパッキン）は消耗品です。経年劣化等で弾力が無くなりシール性が弱くなると、ガスカートリッジ接続時のガス漏れの原因となります。定期的に点検し、亀裂や摩耗等で老朽化している場合は速やかに、また通常の場合は1～2年に一度を目安に交換してください。Oリングの交換につきましては、お買い求めになった販売店もしくは当社にご相談ください。
- 故障または破損したと思われる場合は即座に使用を中止し、お買い求めになった販売店もしくは当社まで点検を依頼してください。
- お客様ご自身による修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に因るような場合は、お買い求めになった販売店もしくは当社にご相談ください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、各部の汚れを取り、付属のナイロンバッグに入れて湿気の少ない場所に保管してください。
- 取り外した容器は、キャップが付いていることを確認してから、風通しの良い40℃以下の場所に保管し、時々点検して缶にサビが発生している場合は出来るだけ早く使用してください。
- 器具と容器を接続したままの状態での保管することは絶対にしないでください。
- 長期保管後に器具を再使用する場合は必ず器具が正常に動作することを確認してください。部品の劣化等で使用に問題がある場合は即座に使用を中止し、お買い求めになった販売店もしくは当社にご相談ください。

仕様

品名	カートリッジガスこんろ（分離型）
型式名	P-136S
ガス消費量	155g/h
出力	2.8kW / 2,400kcal/h (Tガス使用時)
燃焼時間	約70分 (IP-250ガス使用時)
収納寸法	8.7×4.0×8.3cm
ゴトク直径	156mm
重量	195g (本体)
使用容器	IWATANI PRIMUS「IP 250」「IP 500」

原産国：エストニア

アフターサービス

- お買い求め頂きました製品は万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い求めになった販売店もしくは下記までご連絡ください。
- この製品には生産物賠償責任保険がついています。ただし、他社製のガスカートリッジを使用した場合、再充填されたガスカートリッジを使用して発生した事故につきましては保証対象外となります。
- 製品の部品保有期間は、製造を終了した時点もしくは当社カタログの掲載が終了してから5年間となります。
- この製品は付属品を含め、改良のために予告無く仕様を変更することがあります。
- 製品に添付されている製造番号が記載されている「銘板プレート」は正規輸入品であり適合性検査を合格していることを証明するものですので、取り外したり捨てたりしないでください。「銘板プレート」の無い製品は当社ではアフターサービスを提供できませんのでご注意ください。

経年劣化について

- 本製品のガスの接続部にはゴム部品が使われています。ゴム部品は使用の頻度に関わらず、年月とともに劣化していきます。製品お買い上げ後、10年を目安にお買い替えをご検討くださいますようお願い申し上げます。

連絡先

イワタニ・プリムス株式会社

東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20 TEL:03-3555-5605 FAX:03-3555-5674

ホームページ：<http://www.iwatani-primus.co.jp>

イワタニ・プリムスお問合せ窓口：otoiawase@iwatani-primus.co.jp

特に注意していただきたいこと

このページにはプリムスの燃焼器具（全般）をご使用になるための重要なことが説明されています。

ご使用前に

警告

各燃焼器具にはIWATANI-PTIMUSまたはPRIMUSの表示のある「P-250」もしくは「P-500」の専用容器（ガスカートリッジ）を使用してください。その他の容器は絶対に使用しないでください。

なぜ？ 専用ガスカートリッジ以外の容器は、ガスが出るバルブの形状、ノズルの太さ等規格が異なります。この基本設計の違いにより、他のガスカートリッジを使用されますとガス漏れが発生したり、ガスに引火したり、火災事故につながる場合があります。

焼けた砂（砂浜）や河原の上や舗装路面等では使用および放置しないでください。

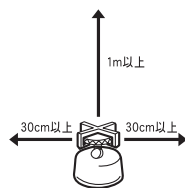
なぜ？ 炎天下の焼けた砂浜や河原、舗装路面は非常に高温になっています。ここにガスカートリッジを直接置きますと、ガスカートリッジが加熱されカートリッジ内部の圧力を急激に上げることになり、爆発することがあります。

各燃焼器具は屋外専用です。屋内、テント内、車内では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死します。

なぜ？ プリムス製品は、屋外での使用を前提に設計されています。使用中は酸素を大量に消費するため、屋内で使用されますと一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死します。また、火災の危険性もあります。

注意

燃えやすいものから上部は1m以上、周囲30cm以上離して使用してください。



なぜ？ 風によって強力な火力は周囲に影響を与える範囲も広がります。特に上方向には相当な熱が昇りますので周囲に十分注意を払ってご使用ください。また、テーブルクロス、ビニールクロス等を使用しないでください。火災事故につながる場合があります。

ガスカートリッジの装着はバルブを垂直に、また締めすぎないように行ってください。

なぜ？ 新品のガスカートリッジには液状のガスが上部まで入っています。従って、斜めに傾けて取り付けますと液状のガスが勢良く噴出しますのでとても危険です。必ず周囲に火気が無いことを確認し、垂直に取り付けてください。カートリッジと器具を接続するネジはとても大切な部分です。斜めに無理にネジ込んだり、過大な力で締め込みますとガス漏れや故障の原因となります。

バルブ（器具栓）内のOリングは、時々点検し、切れ目があったり摩耗や劣化している場合は新しいものと交換してください。

なぜ？ カートリッジと器具を接続する部分にはOリングが使用されています。Oリングは取り付け取り外しをしているうちに摩耗したり古くなって弾力がなくなるため、Oリング機能が低下し、ガス漏れが発生する場合があります。

ご使用中

警告

バーナーで炭の火お越しは絶対にしないでください。



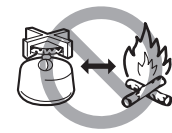
なぜ？ バーナーを炭の火お越しに使用しますと、知らないうちにガスカートリッジを加熱していることになり爆発を引き起こす危険性があります。

1つの調理器具に2つ以上のバーナーを使用しないでください。※片側のみ使用の場合は特に危険です。



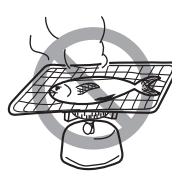
なぜ？ バーナーを2つ以上組み合わせて使用すると、お互いの燃焼炎でカートリッジを加熱しあったり、炎の巻き込みで熱が滞留することになり、カートリッジの内部の圧力が異常に上昇し爆発することがあります。

周囲に引火物、可燃物が無いことを確認し、器具と容器（ガスカートリッジ）の取り付け取り外しは、器具栓つまみが閉じていること確認してから行ってください。



なぜ？ カートリッジと器具を取り付けたり、取り外したりするときは多少ガスが漏れます。周囲に使用中（燃焼中）の器具があったり、たき火、タバコ等の火気がありますと引火する危険性があります。また、器具栓が開いているのを知らずにガスカートリッジを取り付けますと、いきなりガスが噴出して引火する危険性もあります。

市販のセラミック製品や鉄板、網などをシングルバーナーに使用しないでください。また、スモーカー（燻製器）にも使用しないでください。



なぜ？ セラミック製品、鉄板、網などの調理器具やスモーカーは輻射熱が多く、熱が滞留しやすくなっています。バーナーで使用されますと、直結型の場合は輻射熱が直接ガスカートリッジに当たるためガスカートリッジが加熱され爆発する危険があります。分離型の場合でも器具を焼損させることがあります。またスモーカーもガスカートリッジを加熱したり、器具を焼損させる危険性があります。

バーナーを市販の風防、天ぶらガードや石などで絶対に囲まないでください。



なぜ？ バーナーとガスカートリッジを風防や石などで囲みますと排熱が滞留し石やカートリッジを加熱します。カートリッジは加熱されると内部の圧力が異常に上昇するため、爆発することがあります。

火が点いたまま持ち運ばないでください。また、容器（ガスカートリッジ）を着けたまま保管することは絶対にしないでください。



なぜ？ 火が点いたまま持ち運ぶと、ガスカートリッジが揺られて異常に炎が大きくなり引火する危険があります。また、保管中に衝撃が加わることによりガス漏れが発生したり、長期間容器と器具を装着状態にしておきますと、接合部にサビが発生してガス漏れが起こり火災につながる危険性があります。

注意

必ず平坦な場所に水平に設置して使用してください。



なぜ？ コップや鍋等が滑り落ちたり、器具の転倒の原因になります。

こんろを本来の目的以外に使用しないでください。こんろは暖房器具ではありません。



なぜ？ こんろは衣類の乾燥や暖房の目的などの本来の使用目的とは異なった使い方は思わぬ事故（火災、窒息死、一酸化炭素中毒死）につながる危険性があります。

保管および点検

警告

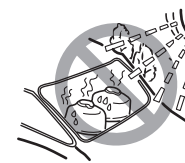
たとえ空になっても、容器（ガスカートリッジ）を火気や熱源（ヒーター、コンロ、ストーブ等）のそばに置かないでください。



なぜ？ 空になったカートリッジでも微量のガスが残っています。これを火の中に投げたり熱源の近くに置きますと、容器内の圧力が上がり爆発する危険性があります。

注意

容器（ガスカートリッジ）は40℃以下の場所で保管してください。（法律によって規定されています。）



なぜ？ 外気温が上昇するとカートリッジ内の圧力が比例して上昇します。カートリッジを炎天下に放置したり、直射日光の当たる車内（トランクルーム含む）や室内に放置することも爆発の原因になります。

お客様による修理や改造は絶対にしないでください。



なぜ？ ガスの流れる部分は非常に精密に作られています。器具の改造は能力の低下になるばかりでなく、不完全燃焼、異常燃焼、ガス漏れ等の事故の原因にもなりかねませんので絶対にしないでください。修理に関しては、販売店、弊社にご相談ください。

表示内容

警告： 誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表す記号です。

注意： 誤った取り扱いをすると使用者が傷害を負う可能性が想定される、および物的損害のみの発生が想定されることを表す記号です。

禁止マーク：